

吹田市地域防災計画修正案に対する提出意見と市の考え方について

- 1 意見提出期間 令和6年(2024年)2月8日(木)から令和6年(2024年)3月8日(金)まで
- 2 意見提出件数 24件(8通)
- 3 提出意見と市の考え方 以下のとおり

No.	該当箇所			提出意見の内容(一部要約)	回答
	編	ページ	項目		
1	共通	2	計画の方針	多重防御の考え方を基本とすることには賛成である。 動物的本能を視野に入れて草案を考えてください。「食べる・寝る・出す(排泄)」基本です。	参考にさせていただきます。
2	共通	11	災害の想定	南海トラフの被害想定について、全壊数433棟、死者20人とも少ない数字ではないか。案)1,000棟、300人以上。 上町断層の被害想定について、全壊数/7,291棟、死者512人とも少ない数字ではないか。案)10,000棟、1,000人以上。 マンション等が多く、高齢者が23%以上、弱者「障がい者・妊婦(子供多い等)外国人が多い状況から。 ①被害想定は、避難所生活で関連死も含めれば20%~25%を視野入れなければならない。 ②マンションの高層化、1戸建て(1人住い・高齢化)等で脱出が難しい。 ③データー数の表示は、一桁までではなく、1,000や2,000などのアバウトな数でよいのではないか。市民は細かい数より、助けてもらえるのか、自分で何とかしろと言うのが問題です。	地震の被害想定については、国や府の算出方法をもとに、最新の研究結果等も考慮し、算出しています。あくまでも想定であり、実災害時にまったくその通りになるというものではないという大前提のもと、市民の皆様への防災・減災啓発に際しては誤解のないよう、かつ、わかりやすく伝えていくようにしていきます。
3	共通	16	市・関係機関の業務大綱	南海トラフ・上町断層等では外部からのボランティア支援は当てににならない。広域災害のため、東日本から九州・沖縄と国民の大半が被害を受ける可能性がある。地域の皆さんがボランティアになり、一人一人が自分を助ければ、他の人も助けることになることを理解する。自分のことは、自分で責任を持ち余裕ができれば、ボランティアなりお手伝いをする。 お客さんにならず~とは、あたりまえのように思われますが災害時は行政等助けるもの考える人が多い事も視野入れた案を作成してください。	災害時の「自助・公助・共助」のうち、自助・共助の大切さについて、これまで以上に啓発を進めてまいります。特に、南海トラフ大地震の場合は、被害が広域に渡り、物流や受援に際して困難が生じることが予想されますので、それについても市の体制整備と市民啓発を両輪で進めてまいります。

4	共通	25	市民・事業者の基本的責務	<p>平常時から災害に対する備えを行うことが想像できない方が多く、PR活動を進める必要があります。PRと述べましたが簡単ではありません。講習会、研修（ワークショップ的な）等を繰り返し、参加者を有償ボランティアとして義務化する必要があります。「地域防災リーダー育成講習修了者」</p>	<p>本市の「地域防災リーダー育成講座」をはじめ市民啓発講座等の内容充実を図ってまいります。</p>
5	共通	27	NPO・ボランティア等多様な機関との連携について	<p>公園や広場等に設置済、または設置される予定の防災かまどベンチによる炊き出しやトイレ貸出システム等の運用について、他所での事例等から参考資料等で示してほしい。</p>	<p>マンション建設等の開発行為を行う際に、様々な防災の取り組みを行うよう、指導をしています。</p>
6	共通	27	NPO・ボランティア等多様な機関との連携について	<p>民間主導での日頃の防災訓練での事例、地域コミュニティでの防災、イザというときに役立つ運用システムの検討。</p>	<p>参考にさせていただきます。</p>
7	共通	27	NPO・ボランティア等多様な機関との連携について	<p>行政での水や備蓄材、燃料の補給等、被災3日目迄の自助公助への材料支援体制等については本編に盛り込めるのであれば記載をする。 （本年3月の健都に隣接する摂津市の明和池公園での青年会議所での炊き出しの様子がNHKニュースで映像動画されています）</p>	<p>本市の備蓄については「吹田市備蓄計画」にて策定、公表しており、今回の地域防災計画修正にあわせて修正を予定しております。</p>
8	共通	28	防災に関する組織	<p>地域への伝達後、周知徹底を図るために連合自治会（旧 吹自連）の役割が大きいと考えます。連合自治会、自主防災組織等の役割分担、防災マニュアル勉強会、ハザードマップ作成、などの年間スケジュール、組織図作成を行い、講習会 ⇒ 訓練 ⇒ 地域全体訓練の繰り返しを実施し、吹田市連合自治会（34地区）「旧吹自連」の会長集会、事務連絡会等を復活し、行政と地域の連携を緊密にする試みを進めることが重要と考えます。吹田市連合自治会（以下「吹自連」という）は、自主防災組織の充実を図る為に防災マニュアル習得、災害時要援護者名簿等の協定書の承認を推し進める。</p>	<p>地域における防災の取り組み、いわゆる「共助」については、連合自治会を含む地域の自主防災組織やコミュニティの力が柱になると考えています。今後も地域における防災力向上のため、施策を進めてまいります。</p>

9	共通	30	自助・共助	<p>避難所運営の責任者となる、小学校の校長・教頭各先生方と自主防災組織関係者のコミュニケーションを図り、運営のあり方（吹田市避難所運営マニュアル・2020年3月版）を共有し、学校関係者が運営方法の企画・図面等が作成できない場合は、自主防災組織関係者が作成し、共有する必要があるが、「吹田市避難所運営マニュアル」が普及していない。ホームページからのダウンロードまでして入手（活用？）しないことについて考えをください。</p>	<p>学校を含む指定避難所となっている施設管理者への周知徹底に努めてまいります。</p>
10	共通	31	(2) 災害への備え	<p>ア～サまでの備えはとても全部取得できない。「私はどこに逃げればいいのか」「食料は、助けは、トイレは」などが頭をよぎる人が多いと考えます。（ボーイスカウトは普段から野外活動でテント生活を行います、自分の命の大切さ、共の命の大切さを長い時間かけて積み重ねます。）</p>	<p>ご指摘のとおり、防災の備えは一朝一夕にできるものではありませんが、取り組みやすいものからでも始めていただけるよう啓発するとともに、子供のころからの防災教育という形でしっかりと防災の知識を身につけていただけるよう努めてまいります。</p>
11	共通	39	第5地区防災計画の推進	<p>地区防災計画を定めるとあるが、組み立て内容の見本がないと進まないのではなか？</p> <p><提案></p> <ul style="list-style-type: none"> *平常時：避難所運営マニュアルの普及啓発、講習会・訓練の繰り返し *災害時：避難所運営マニュアルの実践（死が伴う事を知る） *避難時・避難所運営時：避難所運営マニュアルの実践と市民対応「お客様でない、市民全員がボランティアになり助け合う」 *仮設住宅・移動時：仮設住宅コミュニティの充実（民生委員のお世話役に期待） *復興・普及時：行政の結果が求められる。市民は現状を受け入れて、行政とタッグを組み再生に協力しあい、前に進む。 	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>

12	共通	40	ボランティア活動環境の整備	<p>南海トラフ、上町断層等の災害時のボランティア活動についてです。この大災害は東日本から九州・沖縄地域に及び、全国かもしれません。ボランティアを期待することができないと考えます。</p> <p>「ボランティアとは、自己責任で行う。被害地赴く場合は、テント・食料・食器類・火器（燃料）・衣類類等持参で野営が基本」で、災害地の全員がボランティア活動を行い、助け合うことが急務になると思います。</p> <p><提案> ボランティアの弊害があることを知る。受け入れ体制で宿泊施設・食事・洗濯・医療関係・コミュニティ等に人員が必要になる。本来のボランティア育成を事前に進めて本物のボランティアを育てる。</p>	「自助・共助」の基本的な考え方に通じるご意見です。今後の啓発の参考とさせていただきます。
13	共通	42	(1) 避難所の整備 6訓練の実施	<p>地域で何人の方が要配慮者が把握することから始めないとならないのではと思いますが。</p> <p>この項目を実行すれば良いと考えておられると思いますが、現実には他人のことに関与したくない風潮の中で、綺麗ごとでは実行不可能な現状。市民レベルに目を向けてまずは行政が率先して企画・実行を進めてください。</p> <p><提案> 吹田市地域防災リーダー・内閣府（運営ガイドライン）等の育成講習修了者にPR活動を依頼する。</p>	いただいた意見を所管する部署へ提供いたします。
14	共通	48	第6節 広域一時滞在	<p>市が被災した場合の他の都道府県との協議について、記述されていますが、具体的にはどの都道府県と協議するのでしょうか。また、吹田市民はどこに広域一時滞在させてもらうことになるのでしょうか。発災してから協議するのではなく、現在すでに計画されていると思いますので、記載をお願いします。</p>	大阪府の計画にも記載があるように、国や他の自治体と協力体制を構築するように努めています。
15	共通	48	第6節 広域一時滞在	<p>南海トラフ地震のように、吹田市内よりも大阪府庁のある大阪市内のほうが被害が大きくなるのが想定される場合、大阪府による協議を待つかとまが無いときの対応について、記載をお願いします。</p>	府と協議して、対応を検討してまいります。
16	共通	48	第7節 広域一時滞在	<p>最後の行の“施設”の後にスペースが入っているようですので、削除をお願いします。</p>	修正します。

17	共通	49	第7節 広域避難の受入れ	吹田市を含む地域の欄に「三島市」とあります。三島とか三島郡という表現は聞いたことがあるのですが、広域避難ガイドラインには三島市と書かれているのでしょうか。	地域名称としての「三島」の誤りのため、修正します。
18	共通	50	公助	この項目の実施は、素晴らしいことが多いと思います。広域災害に成る可能性あり住民だけでなく、地域外の方・旅行者等が存在すること考えて、吹田市幹線道路付近に災害用トイレの設置をお願いしたい。	災害時のトイレの問題は大きな課題と認識しております。
19	共通	51	木造建築物が集積している地域の整備	特に震度6地域については、いよいよきそうなときは除却して避難住宅に住んどいたほうが良いと思う	住宅の耐震化推進について、関係各部と進めております。
20	共通	79, 82	災害対策本部の事務分掌	<p>危機管理監の役割が専門的知見に基づく本部長の補佐となり「参謀」になっていますが専門的知見とはどういう意味なのか、特定の資格が必要なのか・・・</p> <p>知見や資格がなくては危機管理官になれない、つまり人事に関することを防災計画で縛るのは異常でおかしいです。参謀的な人が災害時に必要と思うけど、それはその時にいる人で指名をするかまたは災害時に参謀となる人を予めきめておけばいいのではないのでしょうか。</p> <p>知見や資格と市の役職を結びつける防災計画はあってはならないと考えます。</p> <p>また、市の危機管理室が参謀本部というのも変に感じます。危機管理室って事務局を担うのでは？</p> <p>参謀本部は知見を持った人を集め（外部識者もあわせて）別の組織で作るのが良いです。</p>	<p>災害対応は、市の危機管理部門だけが行うものではなく、市全体で取り組むもので、実際に災害が発生すれば、災害対策本部として市全体で対応に当たります。その中で本部長（市長）を補佐する危機管理監（参謀本部長）は、専門的な研修等も受講していますが、特別な資格が必要なものではなく、様々な研修等を通じて常に災害対策本部の運営や各種対応など、災害対応力の向上を図っている危機管理室（参謀本部）職員からの情報を取りまとめ、本部長に進言するなど、個人的な要素だけでなく、組織上の役割が求められているものと考えています。</p> <p>また、災害対応に当たっては、国や府、その他専門機関、学識などとの連携が必須と考えており、そのため、協議や訓練など機会あるごとに連携を深めているところです。</p>
21	共通	79, 82	災害対策本部の事務分掌	<p>災害時の体制について</p> <p>危機管理内部で専門的知見を得た人でないと危機管理監は務まらないのですか？</p> <p>内部の特定の人を危機管理監にしたいから変更するような計画はやめてください。</p>	NO. 20と同じ

22	共通	79, 82	災害対策本部の事務分掌	<p>災害時の体制について、修正意見を申します。</p> <p>1. 現行では、危機管理室が参謀本部となっているが、参謀組織は危機管理とは別立てでない対策本部事務局としての運営と混同するため、危機管理室を対策本部事務局と改め、危機管理室の事務分掌3を削除するよう改める。</p> <p>2. 本部長の補佐として、対策の立案が必要なため、参謀及び参謀本部を横出しの組織とし、危機管理とは別の災害時プロジェクト組織とするよう改める。</p> <p>3. 横出しの参謀本部には、外部(市職員以外)の専門的知識者も加わるような体制に改める。</p> <p>以上、よろしく申し上げます。</p>	NO. 20と同じ
23	共通	79, 82	災害対策本部の事務分掌	<p>危機管理監の役割は、組織をマネジメントすることであり、特に災害時は市長と共に対策本部をマネジメントし運用することこそ重要である。</p> <p>災害対策本部の危機管理監の役割を参謀に変更するとなっているが、参謀の必要性は吹田市独自の課題でも何でもなく、共通の課題である。</p> <p>危機管理内で、内部の特定の人物を危機管理監にしたいがために防災計画の修正を行うように見えるという事は厳に慎むべきであり、この部分の修正を強く望む。</p>	NO. 20と同じ
24	共通	102	第3 災害広報・広聴体制の整備	<p>FAXとファクシミリが混在しているので、どちらかで揃えたほうがよいかと思います。</p>	ファクシミリに統一し、修正します。